

## 西アジア考古学関連学術論文・出版物 (2010年1月～12月)

日本の研究者による西アジア考古学関連の出版物について、おもに会員の皆様から寄せられた情報にもとづいて作成しております。

『西アジア考古学』12号編集委員会

- 赤堀雅幸 2010.2 「公募研究 人類学・歴史学によるアラブ系部族組織再考」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 23-24 頁。
- 赤堀雅幸 2010.3 「イスラーム期以降のアラブ系部族の特徴」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』121-128 頁 六一書房。
- Akahori, M. 2010.3 Preliminary Anthropological Survey of the Villages in Wādī Rahūm and around Tall Ghānim Al-'Alī. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 91-96.
- 足立拓朗・藤井純夫 2009.10 「ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群出土の貝製品の年代について」『Newsletter セム系部族社会の形成』15 1-6 頁。
- 足立拓朗・藤井純夫 2010.3 「シリア中部、ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群出土の石製・ファイアンス製ビーズの年代について」『オリエント』52巻2号 93-107 頁。
- 足立拓朗・藤井純夫 2010.3 「シリア中部、ビシュリ山系北麓ワディ・ヘダージェ 1 =ケルン墓群出土のファイアンス製鳥形護符の年代について」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』24巻 109-122 頁。
- 足立拓朗・藤井純夫 2010.3 「北東シリア、ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群出土の青銅製短剣の年代について」『西アジア考古学』11号 119-127 頁。
- 有松 唯 2010.3 「バルティア期、デーラマン地域の特異性 -カスピ海南西岸域における鉄器時代IV期以降の精製土器分布-」『オリエント』52巻2号 47-75 頁。
- 有村 誠 2010.3 「西アジア先史時代のムギ農耕と道具」佐藤洋一郎・加藤鎌司(編著)『麦の自然史』87-105 頁 北海道大学出版会。
- 有村 誠 2010.5 「西アジアにおける農耕牧畜のはじまり」『在来家畜研究会報告』25号 35-41 頁。
- Arimura, M., C. Chataigner and B. Gasparyan 2010.2 Kml0 2. An Early Holocene Site in Armenia. *Neo-Lithics* 2/09: 17-19.
- Arimura, M., R. Badalyan and B. Gasparyan and C. Chataigner 2010.12 Current Neolithic Research in Armenia. *Neo-Lithics* 1/10: 77-85.
- 石田恵子 2010.3 「ユーフラテス河中流域ルメイラ周辺の前期青銅器時代墓地」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』57-66 頁 六一書房。
- 泉 拓良・辻村純代 2010.3 「フェニキアのネクロポリス -レバノン・ラマリ遺跡の発掘調査-」『考古学が語る古代オリエント 第17回西アジア発掘調査報告会報告集』124-129 頁 日本西アジア考古学会。
- 泉 拓良・辻村純代・小方 登・宮坂 朋・奥山広規 2010.3 『フェニキア・カルタゴ 考古学から見た古代の東地中海 2008 年度』16 頁 京都大学大学院文学研究科考古学研究室。
- Izumi, T., Y. Nishiyama, S. Tsujimura and T. Miyasaka 2009.11 The Preliminary Report of Excavation at Ramali, in Tyre. Resume: VII<sup>cmc</sup>
- Congres International des Etudes. Phéniciennes et Puniques, p.26. Hammamet, Tunisia.
- 泉 拓良・藤本 悠 2010.3 「カザフスタン・トゥルゲン川扇状地でのクルガンの確認踏査 - 2008 年度 -」『考古学が語る古代オリエント 第17回西アジア発掘調査報告会報告集』130-135 頁 日本西アジア考古学会。
- 上杉彰紀 2010.3 「南アジアにおける動物土偶に関する覚書 -岡山市立オリエント美術館所蔵資料の紹介を兼ねて-」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』24巻 1-42 頁。
- 上杉彰紀 2010.2 『インダス考古学の展望: インダス文明関連発掘調査遺跡集成』中洋言語・考古・人類・民俗叢書2 総合地球環境学研究所・インダスプロジェクト。
- Einwag, B. 2010.3 Evidence for Pastoral Nomadism in the Upper Syrian Euphrates Region. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 191-202.
- Ohtsu, T. 2010 Kaluraz. *Encyclopedia Iranica, Volume XV FASCICLE 4*: 409-412. Encyclopaedia Iranica Foundation Inc., New York.
- Ohtsu, T., K. Furuse, T. Adachi, M. Karami, H. Nojima, Y. Arimatsu and K. Wakiyama 2010.8 Preliminary Report of the Iran Japan Joint Research Study of the Gorgan Material in the National Museum of Iran, Tehran. 『人間文化研究所年報』21号 129-150 頁 筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所。
- 大沼克彦 2010.2 「総括班 総合的研究手法による西アジア考古学」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 1-2 頁。
- 大沼克彦 2010.3 「ガーネム・アル=アリ遺跡の発掘」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』21-30 頁 六一書房。
- 大沼克彦・西秋良宏(編) 2010.3 『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』六一書房。
- Ohnuma, K. and A. Al-Khabour 2010.3 Integrated Research in the Bishri Region. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 3-8.
- Ohnuma, K. and M. Sarhan 2010.3 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Eighth Working Season-. *Al-Rafidan* 31: 100-124.
- Ohnuma, K. and M. Sarhan 2010.3 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Ninth Working Season-. *Al-Rafidan* 31: 125-162.
- Ohnuma, K. and M. Sarhan 2010.3 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Tenth Working Season-. *Al-Rafidan* 31: 163-184.
- Ohnuma, K. and M. Sarhan 2010.3 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Eleventh Working Season-. *Al-Rafidan* 31: 185-193.
- Ohnuma, K. and M. Sarhan 2010.3 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Twelfth Working Season-. *Al-Rafidan* 31: 194-202.
- Ohnuma, K. and M. Sarhan 2010.3 Archaeological Research in the Bishri Region -Report of the Thirteenth Working Season-. *Al-Rafidan* 31: 203-207.

- 岡田保良 2010.2 「計画研究 古代西アジア建築における組積技術の形態と系譜に関する研究」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 19-20 頁。
- 岡田保良 2010.3 「ユーフラテス河中流域の古代遺跡にみる建築組積」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』67-74 頁 六一書房。
- 小高敬寛 2010.2 「古代オリエントの土器 -その興隆を読み解く」『オリエント』40号 4-10 頁。
- 小高敬寛 2010.2 「トルコ南東部からシリア北部における土器新石器時代の相対編年研究 -その現状と課題-」菊池徹夫(編)『比較考古学の新天地』971-980 頁 同成社。
- 小高敬寛 2010.3 「オランダ・ライデンで開催された国際会議『北メソポタミアの後期新石器時代を読み解く』」『西アジア考古学』11号 149-154 頁。
- 加藤慎啓・タンタラカーン クリアンカモル・阿部善也・中井 泉 2010.3 「新開発のポータブル蛍光 X 線分析装置による岡山市立オリエント美術館所蔵ガラスの化学組成分析 -2007 年度調査-」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』24 巻 83-90 頁。
- Kadowaki, S. 2010.4 Holocene Book Review: A Holocene Prehistoric Sequence in the Egyptian Red Sea Area: The Tree Shelter. P. M. Vermeersch (ed.) Leuven: Leuven University Press. *The Holocene* 20 (2): 304-305.
- 門脇誠二 2010.4 「西アジア新石器時代の製粉具に関する技術研究: アイン・アブ・ネケイレ遺跡の事例」『論集忍路子 III』1-36 頁 忍路子研究会。
- 門脇誠二 2010.6 「製粉具と居住形態に関する一考察: アイン・アブ・ネケイレ遺跡の事例」『日本西アジア考古学会第15 回総会・大会要旨集』43-48 頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二 2010.11 「南レヴァント地方、後期新石器時代の石器インダストリーと石刃製作: アル=バサティン遺跡の接合資料から」『日本オリエント学会第52 回大会案内・要旨集』15 頁 日本オリエント学会。
- 門脇誠二・久米正吾・安倍雅史・仲田大人・西秋良宏 2010.3 「ユーフラテス河中流域の先史時代 -第2次、第3次調査(2009)」『考古学が語る古代オリエント 第17回西アジア発掘調査報告会報告集』55-61 頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二・近藤康久 2010.10 「旧人・新人に関わる石器製作伝統のデータベース化: その目的と方法」『第1 回研究大会発表要旨集』34 頁 科学研究費補助金「新学術領域研究」2010-2014 「ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相: 学習能力の進化に基づく実証的研究」。
- 河合 望 2010.2 「古代エジプトの祭祀遺跡に関する一考察 -エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡を中心として-」菊池徹夫(編)『比較考古学の新天地』1012-1023 頁 同成社。
- 河合 望 2010.9 「エジプト、アブ・シール南丘陵頂部で発見されたイシスネフェルトのトゥーム・チャペルについて -遺構の性格と被葬者をめぐって-」『オリエント』53 巻1号 1-30 頁。
- Kawai, N. 2010.12 Ay versus Horemheb: The Political Situation in the Late Eighteenth Dynasty Revisited. *Journal of Egyptian History* 3(2): 261-292.
- Kawai, N. and S. Yoshimura 2010.3 The Tomb Chapel of Isisnofret at Saqqara. *Egyptian Archaeology* 36, Spring 2010: 11-14.
- Kawai, N. and S. Yoshimura 2010.5 The Tomb of Isisnofret at Northwest Saqqara. Abstracts of Papers, *Abusir and Saqqara in the Year 2010*, Czech Institute of Egyptology, Charles University, Prague.
- 河端 智 2010.3 「ヨルダン・サルト市におけるエコミュージアム構想」『大阪文化財研究』36 号 37-40 頁。
- Quliyev, F., Y. Nishiaki, F. Hüseyinov, S. Kadowaki, K. Tanno, Y. Hayakawa, N. Hacizadə, T. Babayeva, Sh. Kume, K. Shimogama, Y. Arimatsu and Ch. Akashi 2010 Excavation of a Neolithic Settlement at Göytepe. In M. N. Rehimova, T. E. Bunyadov and I. A. Babayev (eds), *Azərbaycanda Arxeoloji Tədqiqatlar 2009*. 45-54. Arxeologiya və Etnoqrafiya İnstitutu. (in Azeri with Russian and English Summary)
- Gibbs, K., S. Kadowaki and E. B. Banning 2010.7 Excavations at a Late Neolithic and Early Bronze I al-Basatin in Wadi Ziqlab, Northern Jordan. *American Journal of Archaeology* 114(3): 511-512.
- Cooper, L. 2010.3 Urban Elements in Early Bronze Age Settlements of the Northern Euphrates Valley of Syria. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 177-190.
- 久米正吾 2010.1 「シリア、テル・ガーネム・アル・アリ遺跡直近の前期青銅器時代墓地遺跡における墓群構造」『若手研究者成果論集』平成17-21 年度科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 -ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究-」1-13 頁。
- 久米正吾 2010.2 「西アジア新石器時代における白色容器の成形方式とその分布 -特に籠目圧痕を有する事例を中心として-」菊池徹夫(編)『比較考古学の新天地』981-992 頁 同成社。
- 久米正吾 2010.5 「西アジア新石器時代における石膏プラスター素材調整技術とその通時的変異 -シリア、テル・セクル・アル・アヘイマル遺跡での床材と白色容器の比較を通じて-」『史葉』3 号 1-8 頁 加藤建設株式会社学術奨励助成金事務局。
- 久米正吾 2010.6 「墓から迫るセム系部族社会の形成」『若手研究者が挑むセム系部族社会の形成 -ユーフラテス川中流域の青銅器時代考古学 -発表要旨集』13-18 頁 岡山市立オリエント美術館。
- 久米正吾・沼本宏俊 2010.1 「ガーネム・アル=アリ遺跡直近の前期青銅器時代墳墓群の調査(II)」『Newsletter セム系部族社会の形成』17 6-13 頁。
- 久米正吾・沼本宏俊 2010.3 「ガーネム・アル=アリ遺跡直近の前期青銅器時代墳墓群の調査」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3 千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』45-55 頁 六一書房。
- 久米正吾・沼本宏俊 2010.3 「ユーフラテス川流域の古代墓を探る -シリア、ビシュリ山系ガーネム・アル・アリ遺跡近郊墓域の第3次・4次調査(2009年)-」『考古学が語る古代オリエント 第17回西アジア発掘調査報告会報告集』82-88 頁 日本西アジア考古学会。
- クラシミル レシュタコ(千本真生訳) 2010.3 「上トラキア平野の青銅器時代(1)」『東海史学』44 号 139-166 頁 東海大学史学会。
- 小泉龍人 2010.1 「メソポタミアの都市化における快適な空間の形成 -直線的街路と多様な街区の重層的景観-」『西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展 -都市景観の背後にあるもの-』25-30 頁 日本西アジア考古学会。
- 小泉龍人 2010.2 「西アジアの火 -土器焼成窯と温度-」菊池徹夫(編)『比較考古学の新天地』993-1002 頁 同成社。
- 小泉龍人 2010.2 「新収蔵品紹介『ウバイド彩文土器』」『オリエント』40号 1-3 頁。
- 小泉龍人 2010.5 「外国考古学研究の動向: 西アジア」『日本考古学年報』61 91-97 頁。
- 小泉龍人 2010.9 「都市の起源と西アジア -より快適な暮らしを求めて-」後藤明・木村喜博・安田喜憲(編)『朝倉世界地理講座 -大地と人間の物語- 第6巻 西アジア』50-82 頁 朝倉書店。
- 小泉龍人・山藤正敏(編) 2010.1 「付編 西アジア・エジプトの主

- 要都市」『西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展 - 都市 景観の背後にあるもの -』51-99 頁 日本西アジア考古学会。
- 小茄子川歩 2010.3 「インド考古学通信 (2)」『古代文化』61 (4)。
- 小茄子川歩 2010.3 「ファイズ・ムハンマド式土器とその意義 - 岡山市立オリエン特美術館所蔵資料の紹介を兼ねて -」『岡山市立オリエン特美術館研究紀要』24 巻 43-82 頁。
- 小茄子川歩 2010.6 「右向きのモチーフが刻まれたインダス式印章」『日本西アジア考古学会第 15 回総会・大会要旨集』11-16 頁。日本西アジア考古学会。
- 小茄子川歩 2010.6 「インド考古学通信 (3)」『古代文化』62 (1)。
- 小茄子川歩 2010.9 「インド考古学通信 (4)」『古代文化』62 (2)。
- 小茄子川歩 2010.12 「インド考古学通信 (5)」『古代文化』62 (3)。
- 近藤二郎・吉村作治・菊地敬夫・柏木裕之・河合 望・西坂朗子・高橋寿光 2010.3 「第 2 次ルクソール西岸アル=コーカ地区調査概報」『エジプト学研究』第 16 号 47-78 頁。
- 近藤康久 2010.6 「オマーン青銅器時代の墳墓群の空間構造に関する一考察」『日本西アジア考古学会第 15 回大会要旨集』23-28 頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤康久 2010.9 「オマーン・パート遺跡群」『考古学研究』57 巻 2 号 118-120 頁。
- 近藤康久 2010.11 「GIS と高精度センシング技術の活用によるオマーン青銅器時代遺跡群の空間構造の研究」『CSIS DAYS 2010 研究アブストラクト集』22 頁 東京大学空間情報科学研究センター。
- 近藤康久 2010.11 「2010 年代の考古データベースはどう展開するか？」『第 16 回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」論文集』19-28 頁 第 16 回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」実行委員会。
- 近藤康久 2010.12 「中東オマーンの世界遺産をデジタル技術で測る、調べる」『文化財を測る、知る、伝えるの最前線 - 空間情報科学と測量・計測技術を用いた文化財研究 -』37 頁 国立文化財機構奈良文化財研究所。
- 近藤康久・門脇誠二・西秋良宏 2010.12 「考古学におけるネットワーク・コンピューティング：『旧人・新人交替劇』関連遺跡データベースの取り組み」『情報処理学会シンポジウムシリーズ』2010 (15) 号 173-180 頁 情報処理学会。
- 紺谷亮一・クトゥル エムレ・フィクリ クラックオウル・須藤寛史・山口雄治・津村宏臣・岸田 徹・早川裕式 2010.3 「エイリキョイ遺跡における考古地理学的調査 - トルコ共和国カイセリ県における一般調査の一成果 -」『岡山市立オリエン特美術館研究紀要』24 巻 91-108 頁。
- 西藤清秀 2009.12 「古代パルミラ地下墓の大衆化」『第 16 回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会』68-75 頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 西藤清秀 2010.03 「パルミラにおける遺体の棺への納め方 - 頭の無い遺体からわかること -」『西アジア考古学』11 号 39-49 頁。
- 西藤清秀 2010.6 「シリア・パルミラ遺跡」『日本文化財科学会第 27 回大会研究発表要旨集』26-27 頁 日本文化財科学会。
- 西藤清秀 2010.12 「シリア・パルミラ 129-b 号墓調査概観」『第 17 回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会』63-71 頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- Saito, K. 2010.10 Sheep Metacarpi Accompanying the Dead at an Underground Tomb in Palmyra, Syria. *Zeitreisen: Syrien-Palmyra-Rom*. 201-208. Phoibos Verlag: Wien.
- Saito, K. 2010.12 *Female Burial Style in Palmyra - Perspectives on Underground Tombs*. 2-3. International Conference "Palmyra - Queen of the Desert - 50 years of Polish Excavations in Palmyra 1959-2009, Warsaw University.
- 西藤清秀・中橋孝博・吉村和昭・石川慎治・佐藤聖聖・青柳泰介・佐々木玉季 2010.3 「シリア・パルミラ遺跡の家屋墓と乳児墓を掘る - 北墓地 129-b 号墓の調査 2009 -」『考古学が語る古代オリエン特 第 17 回西アジア発掘調査報告会報告集』107-112 頁 日本西アジア考古学会。
- 西藤清秀 2010.02 「パルミラ H 号墓 3D 画像」『オリエンテ』40 号 表紙解説 古代オリエン特博物館。
- 佐々木達夫 2010.3 「建築史による都市史研究方法を学ぶ」『第 3 回全球都市史全史研究会報告書』69-78 頁。
- 佐々木達夫 2010.5.13 「シャルジャ展に寄せて」北国新聞 朝刊文化欄。
- 佐々木達夫 2010.7 「Ceramic Trade via the Oceans」『金大考古』67 号 27-32 頁。
- 佐々木達夫 2010.7 「シャルジャ首長国の歴史遺産と伝統文化」『UAE』48 : 7-10。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2010.2 「炉とゴミ穴 - アラブ首長国連邦の中世遺跡出土例の紹介 -」『金沢大学考古学紀要』31 号 44-105 頁。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2010.3 「ムサンダム半島の港町を掘る - アラブ首長国連邦のディバ農園遺跡第 1 次発掘、海岸遺跡予備発掘・第 1～2 次発掘 -」『考古学が語る古代オリエン特 第 17 回西アジア発掘調査報告会報告集』142-146 頁 日本西アジア考古学会。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2010.3 「シャハリ・ゴルゴラ 2008～2009 年地雷撤去に伴う採集陶磁器予備カタログ」『金沢大学歴史言語文化学系論集史学・考古学篇』2 179-236 頁。
- 佐々木達夫・佐々木花江 (編) 2010.4 『シャルジャ、砂漠と海の文明交流 - アラビアの歴史遺産と文化 -』シャルジャ展日本開催委員会。
- 佐々木花江・佐々木達夫 2009.12 「奈良出土青緑釉陶器瓶」『第 16 回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会』84-89 頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 佐々木花江・佐々木達夫 2010.12 「バーミヤーン産施釉陶器とウズベキスタン陶器」『第 17 回ヘレニズム～イスラーム考古学研究会』33-45 頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 佐藤宏之 2010.2 「計画研究 西アジア旧石器時代の行動進化と定住化プロセスの関係」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 3-4 頁。
- Sato, H. 2010.3 Social Complexity and Organization in Paleolithic of Eurasia. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 21-24.
- 四角隆二 2010.9 「サーサーン朝のガラス」『ペルシアの宝物 - 至高のガラスと銀の世界』24-27 頁 岡山市立オリエン特美術館。
- Charpin, D. 2010.3 The Desert Routes around the Djebel Bishri and the Sutean Nomads according to the Mari Archives. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 239-246.
- 杉本智俊 2010.3 「イスラエル鉄器時代出土土器に見られる「生命の木」の意義」『オリエンテ』52 巻 2 号 23-46 頁。
- 杉本智俊 2010.3 「長谷川修一氏の書評に対する応答」『オリエンテ』52 巻 2 号 164-171 頁。
- Shudai, H., A. Konasukawa, H. Endo, S. Kimura and T. Ueno 2010.3 Report on the Survey of the Archaeological Materials of Prehistoric Pakistan Stored in Aichi Prefectural Ceramic Museum. Part 2: Kulli Ware. *The Bulletin of Tsurumi University: Studies in Humanities, Social and Natural Sciences* 47(4): 53-115.

- Sudo, H. 2010 The Development of Wool Exploitation in Ubaid-period Settlements of North Mesopotamia. In R. A. Carter and G. Philip (eds), *Beyond the Ubaid: Transformation and Integration in the Late Prehistoric Societies of the Middle East. Papers from "The Ubaid Expansion?: Cultural Meaning, Identity and the Lead-up to Urbanism"*, 2006. 169-179. Chicago/Illinois: The Oriental Institute of the University of Chicago.
- Sultan, A. 2010.3 Bronze Age Sites around the City of Raqqa. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 147-154.
- 関廣尚世 2010.6 「いどりの真偽 - 古代エジプト先王朝期の捏造装飾と彩文土器の文様パターン」『遠古登攀 - 遠山昭登君追悼考古学論集』321-332頁 遠古登攀 刊行会。
- 関廣尚世 2010.8 「メロエ遺跡の鑄造技術とスーダン共和国における文化財保護の現状と課題」『アジア鑄造技術史学会研究発表概要集』4号 17-20頁 アジア鑄造技術史学会。
- 関廣尚世 2010.11 「カジュバルダム水没危機遺跡群からみたスーダン考古学の現状と課題」『日本オリエント学会第52回大会 大会案内・要旨集』83頁 日本オリエント学会。
- 銭廣健人 2010.3 「葬送用コーンの機能をめぐって」『オリエント』52巻2号 108-124頁。
- 千本真生・柴田 徹・禿 仁志 2010.3 「ブルガリア先史土器の胎土研究に関する予察」『東海史学』44号 105-118頁。
- 千本真生 2010.3 「ブルガリア・トラキア地方における前期青銅器時代エゼロ文化の系譜と成立 - 主に土器装飾を手がかりにして -」『西アジア考古学』11号 1-21頁。
- 高尾賢一郎 2010.1 「シリア・ユーフラテス川中流域の事例に見る『部族』ガバナンスの様態と『遊牧民』概念の変容」『若手研究者成果論集』平成17-21年度科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 - ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究 -」14-35頁。
- 高濱 秀 2010.3 「初期遊牧民族の墓群と部族」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア - ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』109-120頁 六一書房。
- 谷一尚 2010.3 「シルクロードの女性とガラス」『私たちのシルクロード - 美の東西交流史 -』201-231頁 平凡社。
- 谷一尚 2010.8 「古代ガラス研究と松島巖さん」『コアガラス、松島巖』108-109頁 淡交社。
- 谷一尚 2010.9 「直と風 - サーサーンなど西方系文物の東漸と正倉院宝物」『ペルシアの宝物』37-42頁 岡山市立オリエント美術館。
- Taniichi, T. 2010 Ancient Glass Research and Iwao MATSUSHIMA. In *Core-formed Glass, Iwao Matsushima*, 110-112. Kyoto.
- Taniichi, T. 2010 Sasanian and Post-Sasanian Plant Ash Glass Vessels Delivered to Japan. In B. Zorn et al. (eds), *Glass along the Silk Road from 200BC to 1000AD, Römisch-Germanisches Zentralmuseum Tagungen*, Band 9. 239-246. Mainz.
- ダリー ステファニー (大津忠彦・下釜和也 訳) 2010.12 『バビロニア都市の生活』同成社。
- 丹野研一 2010.3 「紀元前3千年紀の出土植物」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア - ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』75-86頁 六一書房。
- 常木 晃 2010.2 「計画研究 西アジアにおける都市化過程の研究」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 9-10頁。
- 常木 晃 2010.3 「西アジア先史考古学の課題 - イランの調査から -」『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』21 10-17頁 名古屋大学年代測定総合研究センター。
- 常木 晃 (編) 2010.3 『食文化 - 歴史と民族の饗宴』悠書館。
- 常木 晃 2010.3 「頭蓋骨埋葬の二態」『歴史人類』38号 87-113頁 筑波大学大学院人文社会科学研究所歴史・人類学専攻。
- 常木 晃 2010.9 「第4回古代オリエントのモノ語り: 西アジアの食文化 オリーブの地中海」『オリエンテ』41号 5-11頁。
- Tsuneki, A. 2010.3 Ethno-Archaeological Research on the Modern Cemeteries of Ghanem al-Ali Village. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 79-90.
- Tsuneki, A. 2010.4 A Newly Discovered Neolithic Cemetery at Tell el-Kerkh, Northwest Syria. In P. Matthiae, F. Pinnock, L. Nigro and N. Marchetti (eds), *Proceedings of the 6th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East. May, 5th-10th 2008, "Sapienza" - Università di Roma Volume 2. Excavations, Surveys and Restorations: Reports on Recent Field Archaeology in the Near East*. 697-713. Harrassowitz Verlag, Wiesbaden.
- Tsuneki, A. 2010.4 Proto-Neolithic Caves in the Bolaghi Valley, Southern Zagros. *7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Programme & Abstract Handbook*. p.101. The British Museum & University College of London.
- Tsuneki, A. 2010.4 Early Cremation Practices Recognized from a Neolithic Site, Tell el-Kerkh. Poster in *7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Programme & Abstract Handbook*, p.101. The British Museum & University College of London.
- Tsuneki, A. 2010.11 A Glimpse of Human Life Given by the Neolithic Cemetery at Tell el-Kerkh, Northwest Syria. *Abstract Papers of 17th Neolithic Seminar at Ljubljana University, Slovenia*.
- Tsuneki, A. and J. Hydar 2010.12 Tell el-Kerkh 2008. *Chronique Archéologique en Syrie*: Volume 4, 2010. 91-95. The Directorate General of Antiquities and Museums, Damascus.
- 常木 晃・長谷川敦章 2010.3 「新石器時代の巨大集落 - シリア、テル・エル・ケルク遺跡の2009年度調査 -」『考古学が語る古代オリエント 第17回西アジア発掘調査報告会報告集』31-36頁 日本西アジア考古学会。
- 津村眞輝子 2010.9 「ペルシア書道へのいざない」『オリエンテ』41号 12-15頁。
- 津本英利 2010.2 「古代オリエントのモノ語り 第3回 西アジアにおける金属利用の歴史」『オリエンテ』40号 17-21頁。
- 津本英利 2010.9 「夏の特展 地中海古代クルーズ 展示こぼれ話」『オリエンテ』41号 16-19頁。
- Durand, J.-M. 2010.3 The Banks of the Euphrates along the Bishri. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 253-262.
- 中井義明 2010.3 「クセルクセス」『文化学年報』59輯 1-27頁 同志社大学文化学会。
- Nakai, Y. et al. (compili e scrivendo) 2010.3 *Marzo, Convegno Internazionale 2009 Atti La storia della citta antiche: Kyoto, Nara, Roma e Pompei*. Scuola della Specializzazione di Lettere, Università di Doshisha / 中井義明ほか(編著)『国際シンポジウム2009報告集 古都物語 - 京都、奈良、ローマ、そしてポンペイ -』同志社大学文学研究科。
- 中田一郎 2010.3 「ジムリ・リム治下のマリ王国の遊牧民支配 - 放牧地の長メルム役人の役割を中心に -」『人文研紀要』68号 387-412頁 中央大学人文科学研究所。
- 中田一郎 2010.3 「マリ出土の預言報告書に見られる預言と預言者」『旧約学研究』7号 69-91頁。
- 中田一郎 2010.3 「バビロニアの神話」『中近東の神話と伝説』(平成

- 21年度武蔵野市寄付口座講義録)55-64頁 中近東文化センター。
- Nakata, I. 2010.6 Nomads and Farmers in the Orbit of the Mari Kingdom in the 18<sup>th</sup> Century (B. C. E) Syria: A Few Observations on *Merhum*-officials and their Roles. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 231-238.
- 中野智章 2010.3 「オックスフォード大学におけるエジプト学教育 - 研究生としての体験から」『アリーナ』8号 251-256頁 中部大学総合学術研究院。
- Nakano, Y. and H. Ishida 2010.3 Human Remains from the Bronze Age Sites in Bishri Region, the Middle Euphrates Syria. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 105-115.
- 中村俊夫 2010.3 「ガーネム・アル＝アリ遺跡の<sup>14</sup>C年代測定」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア - ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』31-44頁 六一書房。
- Nakamura, T. 2010.3 The Early Bronze Age Chronology Based on <sup>14</sup>C Ages of Charcoal Remains from Tell Ghanem Al-Ali. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 119-130.
- 西秋良宏 2010.1 「青銅器時代ユーフラテス河中流域の集団関係 - 国際シンポジウム『Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria』を終えて」『Newsletter セム系部族社会の形成』17 1-5頁。
- 西秋良宏 2010.2 「計画研究 西アジア乾燥地帯への食料生産経済波及プロセスと集団形成」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 5-6頁。
- 西秋良宏 2010.3 「ユーフラテス河中流域の古代集落」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア - ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』11-20頁 六一書房。
- Nishiaki, Y. 2010.3 Archaeological Evidence of the Early Bronze Age Communities in the Middle Euphrates Steppe, North Syria. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 37-48.
- 西秋良宏・門脇誠二・下釜和也 2010.11 「ユーフラテス川中流域の先史遺跡 - 第四次踏査報告」『日本オリエント学会第52回大会案内・要旨集』75頁 日本オリエント学会。
- 西山要一・片山一道・鈴木孝仁・小林有紀子・塩地宏行・山内基樹ほか 2010.10 『レバノン共和国壁画地下墓の修復 プルジュ・アル・シャマリ所在ローマ時代壁画地下墓 T.01 保存修復2010年度概要報告書』16頁 奈良大学。
- 西山要一 2010.11 「レバノン共和国・ティール所在の地下墓壁画の保存環境 - ラマリ TJ04 とプルジュ・アル・シャマリ T.01 -」『坪井清足先生卒寿記念論文集 - 埋文行政と研究のはざままで -』313-322頁 坪井清足先生の卒寿をお祝いする会。
- Numoto, H. and S. Kume 2010.3 Survey and Sondage at the Cemeteries near the Site of Tell Ghanem al-'Ali. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 49-60.
- Numoto, H. and S. Kume 2010.3 Soundings of Hilltop Burial Mounds near Tell Ghanem al-'Ali. In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Ninth Working Season. Al-Rafidan* 31: 132-136.
- Numoto, H. and S. Kume 2010.3 Cleaning and Survey of Early Bronze Age Shaft Graves at Wadi Daba Cemetery near Tell Ghanem al-'Ali. In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Eleventh Working Season. Al-Rafidan* 31: 185-190.
- Paz, Y., M. Okita, A. Tsukimoto, S. Hasegawa, S.-K. Lim, D. T. Sugimoto, T. Onozuka, Y. Tatsumi and M. Yamafuji 2010 Excavations at Tel Rekhes. *Israel Exploration Journal* 60: 22-40.
- 長谷川敦章 2010.1 「テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の集落変遷に関する一試案 - 第4次発掘調査の成果を中心に -」『若手研究者成果論集』平成17 - 21年度科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 - ユーフラテス河中流域ピシュリ山系の総合研究 -」62-75頁。
- 長谷川敦章 2010.9 「ウガリトの遺跡ラス・シャムラ」『オリエント』41号 表紙解説。
- Hasegawa, A. 2010.3 Sondage at the Site of Tell Ghanem Al-Ali. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 25-36.
- 長谷川修一 2010.3 「南レヴァントにおけるオリエント式石臼 - 東地中海における石臼海上交易の実態と背景 -」『物質文化』88号 1-14頁。
- 長谷川修一 2010.9 「杉本智俊氏の短報に寄せて」『オリエント』第53巻第1号 167-170頁。
- Hasegawa, S. 2010.3 The Numbers of the Israelite Army in the Time of Joahaz: Is II Reg 13,7 Derived From an Archival Source? *Orient* 45: 35-39.
- Hasegawa, S. 2010.3 Two Stamped Amphora Handles from Tel Zeror in the Tenri University Sankokan Museum. *Orient* 45: 183-188.
- Hasegawa, S. 2010.5 The Relations between Amos 6:13-14 and 2 Kgs 14:25-28. *Annual of the Japanese Biblical Institute* 33: 93-102.
- Hasegawa, S. 2010.7 Historical and Historiographical Notes on the Pazarcik Stela. *Akkadica* 131: 1-9.
- Hasegawa, S. 2010.10 Adad-nērārī III's Fifth Year in the Saba'a Stela: Historiographical Background. *Revue d'Assyriologie et d'archéologie orientale* 102: 89-98.
- 長谷川修一・梅津信幸 2010.3 「土器実測図データベースにおける類似検索」『西アジア考古学』11号 129-137頁。
- 長谷川奏・恵多谷雅弘 2010.9 「エジプト西方デルタ地域の遺跡分布 - プハイラ県デリンガード市の事例 -」『オリエント』53巻1号 154-160頁。
- 畠山 禎 2010.5 『遊牧世界の造形 - 人と暮らす動物たち -』(シリーズ ユーラシアの造形) 横浜ユーラシア文化館。
- 馬場匡浩 2010.2 「精製土器と粗製土器: 胎土分析からみたエジプト先王朝時代の土器製作」『比較考古学の新天地』菊池徹夫(編) 1076-1087頁 同成社。
- Baba, M. 2010 Hitting the Wall: Testing Anomalies at HK11C. *Nekhen News* 22: 20-21.
- Baba, M. and S. Yoshimura 2010 Dahshur North: Intact Middle and New Kingdom Coffins. *Egyptian Archaeology* 37: 9-12.
- 平山郁夫シルクロード博物館・古代オリエント博物館(編) 2010.8 『栄光のペルシア』山川出版社。
- Fagan, B. M. (小泉龍人訳) 2010.1 『考古学のあゆみ - 古典期から未来に向けて -』朝倉書店。
- 藤井純夫 2010.2 「計画研究 セム系遊牧部族の墓制に関する比較研究」『Newsletter セム系部族社会の形成』18: 7-8。
- 藤井純夫 2010.3 「新石器時代のダム - ヨルダン南部ジャフル盆地における新石器時代水利遺構の再踏査(2009)」『第17回西アジア発掘調査報告会報告集』49-54頁 日本西アジア考古学会。
- Fujii, S. 2009 Flint Bowlets: A Comprehensive Review from Wadi Abu Tulayha, Ma'an Region. *Neo-Lithics* 2/09: 20-28.
- Fujii, S. 2010.5 A Comprehensive Review of Neolithic Water Catchment

- Facilities in the Jafr Basin, Southern Jordan: A Preliminary Report of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 3, 2009. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 53.
- Fujii, S. 2010.7 Wadi Abu Tulayha and Neolithic Dam Survey in the Jafr Basin. In D. R. Keller and C. A. Tuttle (eds), *Archaeology in Jordan, 2008 and 2009 Seasons. American Journal of Archaeology* 114: 532-534.
- 藤井純夫・足立拓朗 2010.3 「ケルン墓の分布と部族・氏族の相関」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』147-157頁 六一書房。
- 藤井純夫・足立拓朗 2010.3 「セム系部族社会の形成 -シリア、ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群の第5~7次調査(2009)」『第17回西アジア発掘調査報告会報告集』76-81頁 日本西アジア考古学会。
- Fujii, S. and Adachi T. 2010.3 Archaeological Investigations of Bronze Age Cairn Fields on the Northwestern Flank of Mt. Bishri. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria, 2010*: 61-77.
- Fujii S., T. Adachi, H. Endo, K. Nagaya and K. Suzuki 2010 Archaeological Investigations at the Tor Rahum Cairn Field 1 on the Northwestern Flank of Mt. Bishri. In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Eighth Working Season. Al-Rafidan* 31: 101-107.
- Fujii S., T. Adachi, K. Nagaya, K. Suzuki and K. Inoue 2010 An Archaeological Survey and Sounding of Bronze Age Cairns in the Northwestern Flank of Jabal Bishri. In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Tenth Working Season. Al-Rafidan* 31: 163-168.
- Fujii S., K. Suzuki and K. Inoue 2010 An Archaeological Survey of Bronze Age Cairns in the Northwestern Flank of Jabal Bishri. In K. Ohnuma and M. Sarhan (eds), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Ninth Working Season. Al-Rafidan* 31: 144-151.
- 星野光雄 2010.2 「計画研究 環境地質学、環境化学、<sup>14</sup>C年代測定にもとづくユーフラテス河中流域の環境変遷史」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 15-16頁。
- Hoshino, M., T. Tanaka, T. Nakamura, H. Yoshida, T. Saito, K. Tsukada, Y. Katsurada, Y. Aoki and S. Oho 2010.3 Geological and Chronological Study in the Bishri Region. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 9-20.
- 堀岡晴美 2010.1 「バビロニア南部の果樹園 -果樹供給と都市を守るシェルターとしての役割」『西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展 -都市景観の背後にあるもの』31-36頁 日本西アジア考古学会。
- 堀岡晴美 2010.1 「南メソポタミア都市文明に貢献したマルトゥ」『若手研究者成果論集』平成17-21年度科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 -ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究-」36-61頁。
- 堀岡晴美 2010.1 「都市マルトゥの位置を探る - Tell Thadiyēn はマルトゥ市かアバットゥム市か?」『Newsletter セム系部族社会の形成』17 14-16頁。
- 堀岡晴美 2010.3 「前3千年紀半ば南メソポタミアにおける容量単位並行使用について」『西アジア考古学』11号 23-38頁。
- 堀岡晴美 2010.6 「マルトゥ その語義および『舟乗り』との関連性についての一試論」『日本西アジア考古学会第15回総会・大会要旨集』29-33頁 日本西アジア考古学会。
- 堀岡晴美 2010.11 「ファラにおける居留地建設とマルトゥ」『日本オリエント学会第52回大会研究発表要旨集』40頁 日本オリエント学会。
- Borisov, B. D. 2010 *Dyadovo: Bulgarian-Japanese Expedition Vol.2. The Sanctuary of the Thracian Horseman and the Early Byzantine Fortress*. Zograf Publishing.
- Portillo, M. R., M. Albert, S. Kadowaki and Y. Nishiaki 2010 Domestic Activities at Early Neolithic Tell Seker al-Aheimar (Upper Khabur, Northeastern Syria) through Phytoliths and Spherulites Studies. In C. Delhon, I. Théry-Parisot and S. Thiébaud (eds), *People and Plants: Landscape Exploitation and Vegetal Resources Management from Prehistoric Times to Present*. 19-30. APDCA, Antibes.
- 本郷一美 2010.2 「計画研究 西アジア先史時代から都市文明社会への生業基盤の変化に関する動物・植物考古学的研究」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 17-18頁。
- Hongo, H., C. Akashi, L. Omar, K. Tanno and H. Nasu 2010.3 Zooarchaeology and Ethnoarchaeobotany at Tell Ghanem Al-Ali. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 97-104.
- 前川和也 2010.2 「計画研究 〈シュメール文字文明〉の成立と展開」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 13-14頁。
- 前川和也 2010.3 「紀元前3千年紀粘土板文書にみえる家族と血縁集団」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』139-146頁 六一書房。
- Maekawa, K. 2010.3 "Rod and Ring": Insignias of Foreign Rule in the Ur III and OB Periods. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 215-230.
- 前田修 2010.3 「西アジア新石器時代における黒曜石研究の新展開」『西アジア考古学』11号 67-79頁。
- 前田修 2010.5 「2009年の歴史学界 -回顧と展望- 西アジア・北アフリカ(古代オリエント)1」『史学雑誌』119編5号 278-282頁。
- 牧野久実 2010 「エン・ゲウ ペルシャ時代からヘレニズム時代の考え方」『イスラエル考古学研究会ニュースレター』9号 7-10頁。
- 牧野久実 2010 「エン・ゲヴ出土のヘレニズム土器(1) 口縁部が内湾する小鉢」『イスラエル考古学研究会ニュースレター』10号 9-12頁。
- Al-Maqdissi, M. 2010.3 Matériel pour l'étude de la ville en Syrie (deuxième partie). Urban Planning in Syria during the Sur (Second Urban Revolution) (Mid-Third Millennium BC). *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 131-146.
- Al-Maqdissi, M. and K. Ohnuma 2010.3 Preliminary Reports of the Syria-Japan Archaeological Joint Research in the Region of Ar-Raqqā, Syria, 2009: Introduction. *Al-Rafidan* 31: 97-99.
- 松本健 2010 「西アジア考古学遺跡のデータベース化の研究」大沼克彦・西秋良宏(編)『紀元前3千年紀の西アジア -ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』3-10頁 六一書房。
- 三宅裕 2010.3 「乳を食べる人々 -西アジアの乳製品-」『食文化 -歴史と民族の饗宴』198-214頁 悠書館。
- 三宅裕 2010.3 「講演録 西アジアにおける家畜飼育 -乳利用と乳製品の歴史を探る」『松戸市立博物館紀要』17号 15-26頁。
- 三宅裕 2010.3 「西アジアにおける土器の起源を探る:トルコ、サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡第5次調査(2009年)」『考古学が語る古代オリエント 第17回西アジア発掘調査報告会報告集』43-48頁 日本西アジア考古学会。
- Miyake, Y. 2010.5 2008 Yılı Diyarbakır İli, Salat Camii Yanı Kazısı. *31. Kazı Sonuçları Toplantısı 2. Cilt*: 435-450.
- Miyake, Y. 2010 Excavations at Salat Camii Yani 2004-2006: A Pottery

- Neolithic Site in The Turkish Tigris Valley. In P. Matthiae, F. Pinnock, L. Nigro and N. Marchetti (eds), *Proceedings of the 6<sup>th</sup> International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East. May, 5<sup>th</sup>-10<sup>th</sup> 2008, "Sapienza" -Università di Roma Volume 2. Excavations, Surveys and Restorations: Reports on Recent Field Archaeology in the Near East*. 417-429. Harrassowitz Verlag, Wiesbaden.
- 宮下佐江子 2010.2 「計画研究 オアシス都市パルミラにおけるビシュリ山系セム系部族文化の基層構造と再編」『Newsletter セム系部族社会の形成』18 21-22 頁。
- 宮下佐江子 2010.2 「平山郁夫氏をしのんで」『オリエンテ』40号 30 頁。
- Meyer, J.-W. 2010.3 The Cemetery of Abu Hamad: A Burial Place of Pastoral Groups? *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 155-164.
- Meyer, J.-W. 2010.3 Tribal Community and State: The Change of Settlements and Settlement Patterns in Upper Mesopotamia during the 3<sup>rd</sup> Millennium B. C. -A Re-Evaluation. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 203-211.
- 山田重郎 2010.3 「前2千年紀におけるアムル人、アラム人とアッシリア」大沼克彦・西秋良宏（編）『紀元前3千年紀の西アジア—ユーラシア河中流域に部族社会の原点を探る』129-137 頁 六一書房。
- Yamada, S. 2010.3 Administration and Society in the City of Tābatum as Seen in the Old Babylonian Texts from Tell Taban. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 247-252.
- 山藤正敏 2010.3 「南レヴァント地方前期青銅器時代の都市化」大沼克彦・西秋良宏（編）『紀元前3千年紀の西アジア—ユーフラテス河中流域に部族社会の原点を探る』97-108 頁 六一書房。
- 吉村作治・河合 望・柏木裕之・西坂朗子・高橋寿光 2010.3 「第18次調査概報」『エジプト学研究』別冊 アブ・シール南丘陵遺跡 第18次・第19次調査概報 14-48 頁 早稲田大学エジプト学会。
- 吉村作治・近藤二郎・河合 望・柏木裕之・西坂朗子・高橋寿光 2010.3 「第19次調査概報」『エジプト学研究』別冊 南丘陵遺跡 第18次・第19次調査概報 49-59 頁。
- 吉村作治・馬場匡浩・近藤二郎・西本真一・柏木裕之・矢澤 健 2010.3 「エジプト ダハシュール北遺跡発掘調査報告—第12次・第13次発掘調査—」『エジプト学研究』16号 5-46 頁。
- Lönnqvist, M. 2010.3 Tracing Tribal Implications among the Bronze Age Tomb Types in the Region of Jebel Bishri in Syria. *Al-Rafidan Special Issue: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria*: 165-173.
- 渡邊眞紀子・古川 桂・杉村俊郎・中野智章・塚本敏夫・亀井宏行 2010 「エジプト西方砂漠ハルガオアシスのアルザヤーン神殿周辺の水環境—ALOS パンシャープン画像を用いた環境地図の試作—」『日本リモートセンシング学会誌』30号 11-18 頁 日本リモートセンシング学会。
- 和田久彦 2010.2 「テル・マストゥーマ出土の鉄器時代の水差形土器と急須形土器の用途に関する一考察」菊池徹夫（編）『比較考古学の新天地』1003-1011 頁 同成社。
- 和田久彦 2010.2 「テルとの戦い：マストゥーマ第二期調査参謀将校の回顧録」『オリエンテ』40号 22-29 頁。